

平成30年度 算数科授業の略案 (2年A組)

月日 (校時)	単元名	教材名
11月26日(水) (4校時)	かけざん(2)	九九をつくろう
本時のねらい (本時 9/17) ○9の段の九九の構成の仕方を理解する。		
評価規準 考 乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、9の段の九九の構成の仕方を考え、説明している。		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
<b>【導入】</b> 振り返り 11:15	・8の段のかけ算の学習を振り返る。 前時に学んだ8の段の九九の唱えを聞き合い、全体で、8の段の九九の答えをどのように求めたかを確認する。	・ペアで8の段の九九を聞き合わせ、8の段の構成の仕方を側面掲示資料を使って確認する。
課題把握 11:18  11:20 問いの共有 (見通し)  ・シラバス ・言語わざ  11:25 自力解決   11:31 集団解決 ・ペア学習 11:33 ・全体学習  ・考察  11:53 まとめ	1 課題について知る。 9のだんの九九をくふうしてつくり、やり方をせつめいしよう。  ○これまで学習したことで、9の段のかけ算の答えを見つける手がかりになりそうなことはありませんか。 ・かけられる数とかける数を入れ替えても答えは同じだから $2 \times 9$ や $3 \times 9$ の答えを使うと分かります。 ・ $9 \times 1$ は9が1つ分で、 $9 \times 2$ は9の2つ分です。だから、9をかける数の分だけたすと答えが分かります。 ・9の段はかける数が1増えると答えは、9増えることが使えます 《1人学び(8分)・ペア学び(2分)・全体学習(18分)・まとめ(6分)・振り返り(2分)》 言語わざ：理由をつけて説明する 2 9の段の九九をつくる。 ・ $9+9=18$ , $9+9+9=27$ , $9+9+9=27 \dots$ (同数累加) ・ $9+9=18$ , $18+9=27$ , $18+9=27 \dots$ (乗数が1増えると積は被乗数分増える) ・ $2 \times 9=18$ , $3 \times 9=27$ , $4 \times 9=36$ (乗法の交換法則) ・アレイ図を手がかりにして考えました。9の段は、かけられる数を分けて考えると、4の段と5の段の答えになりました。 3 9の段の九九の構成の仕方について話し合う。 ○9の段の九九をどうやってつくったが説明してください。 ・ $9+9=18$ , $9+9+9=27$ , $9+9+9+9=36 \dots$ (同数累加) ・ $9+9=18$ , $18+9=27$ , $\dots$ (乗数が1増えると積は被乗数分増える) ・ $2 \times 9=18$ , $3 \times 9=27$ , $4 \times 9=36$ (乗法の交換法則) ・アレイ図を使って考えました。9の段は、かけられる数を分けて考えると、4の段と5の段の答えをたした数になりました。 ○9の段を知らなくても答えを見つけるコツについて考えよう。 ・今まで習ったかけ算のきまりを使ったらいいです。 4 9の段の九九の構成についてまとめる。 9のだんの九九をつくるときは、かける数が1増えると答えが9増えるというかけ算のきまりを使ってつくとよい。  ※かけ算のきまり：①同じ数のまとまりをたしていく②かける数とかけられる数を入れ替えても答えは同じ③かける数が1増えると答えが9増える など ○9の段のかけ算の式と答えをまとめよう。	かけ算 九九 たし算 アレイ図 かけられる数 かける数 こたえ 1つ分の数 いくつ分 ぜんぶの数 ・教室の側面掲示やノートの記述等、これまで九九を構成した学習の足あとを手がかりに考えさせるようにする。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しが持てない児童には、9の段の数の構成が分かる図やアレイ図を使って考えるよう示唆する。 ・ノートに考えを書かせ、早くできた児童には、ホワイトボードに考えを書くよう指示する。 ・早くできた児童には、他のやり方でも考えるよう指示する。 ・補助黒板を使って、児童の考えを掲示させるようにする。 考 乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、9の段の九九の構成の仕方を考え、説明している。 ・自分とは違う考え方の説明があったときにはメモするよう示唆する。 ・自分がした求答活動がどのような乗法のきまりや成り立つ性質に依拠しているか確認させる。 ・リード文の続きを各自で書かせるようにする。 ・九九の表に書き込ませるようにする。早く書き込んだ児童には、9の段になっているものを見つけるよう促す。
<b>【終末】</b> ふりかえり 11:58	5 学習したことを振り返る。	・振り返りの視点にそって、できるようになったこと、分かったこと、友だちから学んだことを記述させる。